

進徳での3年間は、私の職業観・人生観を変化させる学びが多くありました。出前授業や教材で扱った女性たちはとてもイキイキしていて毎日がとても充実しているように見えました。「1人の人間として社会をつくっている」という自信を感じました。そのような学びをしていく中で自分もそうでありたいと思うようになりました。働き続け、社会と繋がりを持ち続けた生き方をしたい…学びを自ら発信する機会もありました。生徒主体でのオープンスクール企画・運営です。私は全体を統括する役割を担いました。慣れないことばかりで苦戦しましたが、クラス全員でオープンスクールがより良いものになったと思います。このオープンスクールを通して、複数人で一つのことを成し遂げることの楽しさや大変さ、そしてより良いものを作り上げるために全員で協力することの大切さを学びました。そしてこの高校生活では自立した女性に関わる機会が多かっただけでなく、ジェンダーギャップなどの社会問題にも多く触れてきました。女性に限らず、世界の国と日本の貧困や学費に対する意識の違いがどれだけあるのかも学んできました。それを知ったことで私は女性として、1人の人間として、しっかり自立した生き方をしていきたいと思うようになりました。さらに発展的に学べる場所が広島国際大学でした。2年生の2学期ごろから調べるようになり、どの学科に行くか迷っていたとき、現役の看護師や診療放射線技師の方たちと実際に話しました。国際大学ではチーム医療を掲げており、これまでの経験を活かせると思い志しました。入試の時も自分の伝えたいことを全て伝えるという思いで挑みました。大学4年間では、高校での学びを活かし、専門知識だけでなく積極的に活動していきたいと思っています。